



6年生を送る会・お別れ遠足

今日14日(金)は、6年生を送る会とお別れ遠足がありました。送る会は、卒業していく6年生に、在校生からの感謝の気持ちを表す会となりました。

はじめに全校遊びがあり、企画委員会と5年生とで「間違い探し」をしました。体育館のステージ上で、5年生が6年生の思い出ベスト2の場面を演じ(1位修学旅行、2位運動会)、動きが一旦ストップします。その様子を見ている子供たちは10秒間で覚えなければなりません。幕が閉まり、幕が再び開くと、6つ以上の間違いがあるというわけです。一つ一つの間違いがとても楽しく、各学年の子供たちも夢中になって間違いを探して、クイズに答えていました。次に「猛獣狩りに行こうよ」という遊びです。お題の単語、例えば「おびにし」という単語は4文字ですので、4人の異学年が集まって、手を繋いで円陣を組んで座ります。最後は「いままでありがとう」という6年生への感謝の思いを込めて9人で集まって座り、盛り上がりを見せていました。

そして、在校生からは、おめでとうメッセージを発表しました。1年生からは、替え歌で6年生との思い出を振り返っていました。たてわり班での感謝の思いなど伝えていました。2年生は、6年生と一緒にダンスをしながら、卒業するのは寂しいけど中学校でも頑張ると言うメッセージを伝えていました。3年生は、6年生のためにダンスを作って元気いっぱい、ありがとうを伝えていました。4年生は、6年生の名場面をコントで紹介し、朝のボランティアの様子などのショートコントで会場を笑いに誘っていました。そして5年生からは、替え歌とダンスで6年生との別れを惜しんでいました。特に6年生の先生 vs 6年生の代表の子供たちとの3番勝負、「ピンポン玉運び・フラフープ回し・バスケット対決」は、2勝1引き分けて6年代表の子供たちの勝利となり、盛り上がりました。

今年度もより深化したお別れ集会となり、各学年の工夫を凝らした発表には、6年生に「おめでとう」の思いが込められていました。そして、6年生からもありがとうメッセージのお返しがあり、映像と学校の日常で使われている音楽を全員が肩を組んで歌ってくれました。歌った後は、全学年に向けてメッセージを伝えてくれて、それを聴いている下級生も真剣な眼差しでした。

送る会の中では、伝統の襷(たすき)渡しも行われました。この襷渡しは、卒業する6年生が、次年度のリーダーである5年生に、自分たちの思いを襷に託し、渡すというものです。「4つの心」を意識した4色の襷を6年生から5年生に渡しました。

その後、送別遠足に出発し、全校児童が錦ヶ丘公園に向かって歩きました。朝から雨が心配されましたが、遠足に合わせたかのようにお日様の暖かな支援を受け、公園では美味しいお弁当を頬張って、楽しく仲間と遊ぶことができました。

